

第2次

# 甲奴町まちづくりビジョン

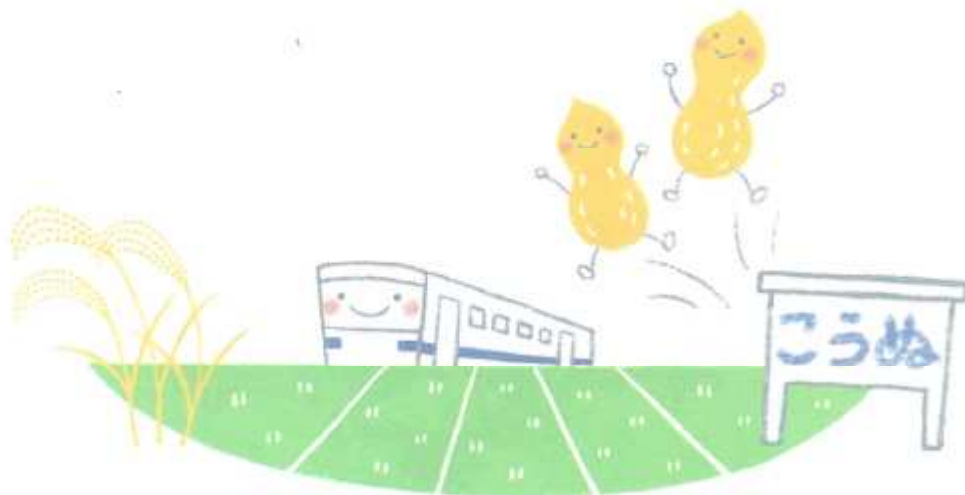


甲奴まちづくりビジョン策定委員会

2019年(平成31年)3月

## 目次

<b>1. 第2次「甲奴町づくりビジョン」策定趣旨</b>	
(1) ビジョンの策定経緯等 .....	2
(2) ビジョンの計画期間 .....	2
(3) ビジョンの策定経過 .....	2
<b>2. 甲奴町をとりまく現況</b>	
(1) 甲奴町の自然 .....	3
(2) 甲奴町の人口 .....	4
(3) 甲奴町の交通 .....	5
(4) 甲奴町の産業 .....	6
①甲奴町の農業	
②甲奴町の商工業	
③甲奴町の特産品とまちづくり	
(5) 三次市甲奴健康づくりセンター「ゆげんき」とまちづくり .....	7
<b>3. まちづくりの基本的な考え</b>	
(1) 基本目標 .....	8
(2) 基本施策 .....	8～15



## 1. 第2次「甲奴町まちづくりビジョン」策定趣旨

### (1) ビジョンの策定経緯等

「甲奴町まちづくりビジョン」は、今後のまちづくりを推進していくための指標として、2006（平成18）年3月に、22名のメンバーによる「まちづくり委員会」によって策定されました。

策定にあたっては、甲奴町の多くの資源に着目してその資源を活用して、地域と住民が主体的にかかわり、自助努力と行政との協働によって取り組むことが可能なソフト事業を中心とした具体的な内容のもので、当初の計画期間は「平成18年度からおおむね5カ年間」とされていました。

しかしこの後、人口減少、少子高齢化に拍車がかかる一方、やまなみ街道（尾道松江線）の全面開通や三次市甲奴健康づくりセンター「ゆげんき」の建設等、新たな公共事業が行われるなど甲奴町を取り巻く環境が大きく変化しています。

このようなことから、まちづくりビジョンを社会環境の変化を踏まえたものとし、甲奴町の将来像をみんなで見据え、甲奴町の益々の活性化のために、平成30年度末の完成に向け、甲奴町まちづくりビジョンを改訂する運びとなりました。

### (2) ビジョンの計画期間

このまちづくりビジョンの計画期間は、平成31年度から平成35年度までとします。

### (3) ビジョンの策定経過

まちづくりビジョン策定にあたっては、甲奴地域づくりネットワーク協議会からの委嘱の委員、甲奴町各地区振興協議会代表、三次市地域おこし協力隊員、三次市集落支援員、三次市地域応援隊（甲奴班）の合計22人が策定委員として、平成29年9月から平成30年12月までの策定委員会に臨み、本書を作成しました。





## 2. 甲奴町をとりまく現況

### (1) 甲奴町の自然

甲奴町は、広島県の中央部分、三次市の南部に位置しており、東西9.1km、南北13.5km、面積65.17km<sup>2</sup>の南北に長い町です。町の中央部を東西に貫流する上下川に沿って標高300m～400mの平坦地が開け、これを中心に東に徳楽山(617m)、弘法山(584m)、南に町内最高峰の頭土山(648m)、北に影信山(593m)の山々があります。

気候は、瀬戸内式気候と日本海気候の境目にあり、内陸部台地にあるため気候は冷涼で、昼夜の温度差が大きく、年平均気温は約13度、年平均降水量は約1,700ミリです。



## (2) 甲奴町の人口

### ～人口減少・少子高齢化の現実の中で～

甲奴町の人口は、平成29年4月1日現在2,538人、65歳以上の割合が45.4%です。国立社会保障・人口問題研究所の資料によると、1990年代の急激な高齢化の現象は、2000年代に入り40パーセント代を推移し、若年人口の減少が加速化し、老年人口が維持から微減に転じる段階に入っています。(下記資料参照)

甲奴町内で1年間に生まれる子どもの数は、1990年代から30人を下回り、現在10人～15人を推移しています。これは、20代～30代の居住者人口減少と未婚率の増加に影響を受けていると考えます。

しかしながら、三次市による定住対策（空き家情報バンク制度や各種補助金、二次市集落支援員および三次市地域おこし協力隊員の配置）と甲奴町振興協議会連合会及び各振興協議会、甲奴町内の各種団体による地域ぐるみの定住促進体制が実を結び、平成28年度から甲奴町への転入者が転出者を上回る「社会増」が継続しています。

このことは、甲奴町の「協働のまちづくり」の成果といえます。



### (3) 甲奴町の交通

甲奴町の交通事情は、公共交通機関では広島市と甲奴町を結ぶバス便「ピースライナー」、JRは福塩線の2駅（甲奴駅・梶田駅）があります。

町内の主要な道路は、町内を南北に結ぶ主要地方道「甲山甲奴上市線」と町内を東西に走り、吉舎町へ直結する「吉舎油木線」があります。

平成15年から国直轄事業としてスタートした中国横断自動車道尾道松江線の建設工事は平成26年に開通し、「やまなみ街道」と命名され、三次東インターチェンジまで20分と交通環境が大幅に改善されました。

今後、産業振興や観光振興への貢献が期待できます。

産業振興については、沿線地域の企業立地の促進、新たな雇用の創出、事業所の移動コストの削減や新たな事業展開の検討が進むなど、地域の事業活動に期待されます。

観光振興については、高根県東部や備北・備後地域の観光客数が増加しており、観光者の旅行機会や滞在時間の増加など、旅行内容の充実化が図られています。

#### 沿線住民の多くが尾道松江線の利用経験あり

##### これまでの尾道松江線利用経験

###### 【島根県東部の住民】



約7割の住民が利用経験あり(H26)

平均利用回数は約2.1回/月(回答数=920)

※島根県東部：松江市、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町、大田市、安来市、美郷町

###### 【備北地域の住民】



約8割の住民が利用経験あり(H26)

平均利用回数は約3.5回/月(回答数=95)

※備北地域：三次市、庄原市  
※H24は未調査

三次河川国道事務所/松江国道事務所 報道資料より (H27.3.6)



## (4) 甲奴町の産業

### ① 甲奴町の農業

甲奴町の主要産業である農業を取り巻く状況は、高齢化の進展や後継者不足等により稲作付面積は平成17年の267haから平成27年は252haへと15ha減少し、農業経営体は400経営体から287経営体へと113経営体の減少となっています。

その一方で、地域農業の担い手となる認定農業者は19経営体あり、多角経営を進める中でこれら大型農家への農地集積が進んできています。認定農業者の経営形態としては、水稻14経営体、酪農5経営体、肉用牛5経営体、アスパラガス4経営体、その他の施設園芸6経営体（菊、ホウレンソウ、野菜苗等）となっています。

また、甲奴町で新たに就農される農業者も増えてきており、この3年間で3人が新規就農者として農業を始められています。

### ② 甲奴町の商工業

甲奴町の事業所について、事業所数及び従業員数は平成21年の148事業所、752人から、平成28年は129事業所、649人へと19事業所、103人が減少しています。

甲奴町の事業所数、従業員数の推移

産業分類（主なもの）		平成21年	平成28年	比較増減
建設業	事業所数	30	24	▲6
	従業員数	119	77	▲42
製造業	事業所数	17	17	0
	従業員数	134	139	5
卸売業、小売業	事業所数	27	27	0
	従業員数	103	97	▲6
教育、学習支援業	事業所数	7	3	▲4
	従業員数	48	6	▲42
医療、福祉	事業所数	7	9	2
	従業員数	129	199	70
サービス業	事業所数	22	21	▲1
	従業員数	67	45	▲22
その他	事業所数	38	28	▲10
	従業員数	152	86	▲66
合計	事業所数	148	129	▲19
	従業員数	752	649	▲103

（出典：経済センサス）

### ③ 甲奴町の特産品とまちづくり

「みよしブランド」として三次市に認定されている甲奴町の産品としては、カーターピーナッツ研究会による「カーターピーナッツ」、山岡酒造株式会社による「瑞冠 純米 山はい 合鴨米」、株式会社日本工芸による「三次産杉材を使った額縁、屏風など」の3点が認定されています。

特に、カーターピーナッツについては、平成13年に第39代アメリカ合衆国大統領ジミー・カーター氏からの贈り物として種が届けられ、それ以降、甲奴の宝として栽培や商品開発に取り組んできています。平成28年には、バラク・オバマ合衆国大統領の広島訪問に際して、日米友好のシンボルとしてカーターピーナッツと新たに商品開発したカーターショコラを贈り、後日、オバマ大統領及びキャロライン・ケネディ駐日大使から礼状が届きました。

また、平成2年のジミー・カーター氏の甲奴町来訪を契機として始まったジョージア州アメリカス市との国際交流事業では、NPO 法人こうぬジミー・カーターシビックセンター国際交流協会を中心に、訪問団の派遣を四半世紀にわたり継続しているなど、「国際交流のまち・甲奴」として他の地域にはない特色あるまちづくりを続けています。

## (5) 三次市甲奴健康づくりセンター「ゆげんき」とまちづくり

### ①市民の健康づくりの拠点と交流の場

平成24年2月に甲奴町振興協議会連合会から提出された「要望書」が契機となり、(仮称)三次市健康増進施設が平成30年度新築落成の運びとなりました。甲奴町の温泉水を利用した室内用ウォーキング専用プールと浴室、トレーニングルームなどを備えた施設は、愛称募集によって「ゆげんき」と命名されました。

厨房・ラウンジ部分は食事と甲奴町の特産物を販売する出店が、地域に委ねられました。4月末のオープンに照準を合わせ女性会が中心となって準備が着々と進められてきました。

「ゆげんき」は三次市の健康づくりの発信施設にとどまらず、甲奴町の地域づくりの拠点となるような目的をもって建設されました。地域住民に長く愛され、また中国やまなみ街道を利用した近隣市町からの集客・交流人口・定住人口の増加のきっかけになるよう、様々な協議が行われています。

### ②オープン後の「ゆげんき」について

三次市甲奴健康づくりセンター「ゆげんき」は、平成30年4月28日にオープンしました。

「ゆげんき」は、甲奴の地に湧き出ている温泉水を利用した歩行専用バーデ・プールと浴室、トレーニングマシン15台が設置されたトレーニング室があり、インストラクターが常駐しています。インストラクターがいることは大きな魅力で、市が行う保健事業と連携して、切れ目のないサポート体制で市民の健康づくりに貢献しています。

また、様々なフィットネス教室や気軽に使用できる調理実習室と多目的室は各種会合に利用されとても好評です。ロビーの一角には、地元の食材をふんだんに使ったメニューを提供する食事処「ピーナッツ」があります。「ゆげんき」を地域の力で盛り上げるために、地元の女性会である「ピースベル甲奴」のメンバーが中心となって運営されています。

健康づくりに即したメニューの工夫や甲奴町の特産品「カーターピーナッツ」地元野菜の物品販売も利用者から好評を博しています。

「ゆげんき」は間もなく一周年を迎えます。この町に新しく加わった施設が長く愛され続けられる施設となるよう大いに期待されています。



### 3. まちづくりの基本的な考え

#### (1) 基本目標

「健康で 楽しくゆかいな 甲奴さとの郷」

#### (2) 基本施策

##### ① 自然と環境，福祉保健，安全と防犯 ～皆と一緒に手をつないで生きるまち甲奴～

##### ● 花いっぱい運動の展開

「花と笑顔あふれるまち」をテーマに、甲奴で暮らす人々の心に安らぎを与え、甲奴を訪れた方々に癒しと感動を与える「花さといっぱいのまちづくり」を進めます。

##### ● 自主防災活動の推進強化（甲奴町防災訓練の実施等）

地域住民が協力・連携し、「自分たちの地域は自分たちで守る」ため、日頃から災害に備えた様々な取り組みを実施することが大切です。自主防災組織を中心に、防災士会・女性消防クラブ・消防団・消防署・駐在所・支所などで、町内全域を対象に防災訓練を実施します。

##### ● 消防団活動，交通安全や防犯活動の推進

消防・防災のリーダーとして、地域に密着し、住民の安心と安全を守る消防団の役割を重要視し活動を支援するとともに、お年寄りや子供などの弱者を交通事故や犯罪から守る取り組みを推進します。

##### ● 一人暮らし，二人暮らしの高齢者宅等への訪問事業

高齢者に健康で快適な生活を維持していただくために、福祉などの専門相談員がご家庭を訪問し、困りごとなどを伺い、健康で潤いのある豊かな生活を送るための支援を行います。

##### ● 「ゆげんき」の建設を契機とした、一体的な健康づくり事業の充実・実施や甲奴町の活性化に向けた事業の展開 (ふれあいサロン・1ドルランチ事業・トレーニングマシン教室) など

「いい汗・いい顔・いい仲間」をキャッチフレーズにスポーツ活動を推進してきましたが、「ゆげんき」の完成により、温泉プールやトレーニングマシンを利用した一体的な健康づくりが可能になりました。

### ● 温泉プールを利用した事業

体への負担が少なく、運動効果や痛みの軽減効果が高いとして中高年に人気なのが水中ウォーキングです。高齢者や要介護者の機能回復のための水中運動プログラムなども策定し、健康維持を図ります。



### ● 健康寿命を延ばす事業

赤ちゃん（子育て世代）からお年寄りまで、みんなが住みやすいまちづくりを目指します。

地域共存社会（誰もが住み慣れた地域で、生きがいをもって暮らし、共に支え合う社会）を目指します。住民が世代や背景を超えてつながり、お互いに支え合う関係を育んでいきます。また、地域連絡会議を通じて地域包括ケアの実現に引き続き取り組み、その対象を高齢者から全世代に広げ、生活上の困難を抱える人に公的支援が届きやすいまちづくりを進めます。

「ゆげんき」等を活用して、一人一人の、また地域や集団の健康推進活動を応援します。健康寿命の延伸を図り、みんなが自分の生きがいに向けて元気に取り組めるまちを目指します。



## ② 食、環境保全、産業の振興、定住の促進 ～里山から世界へ 世界へつながるまち甲奴～

### ● イベントへの市域外からの参加拡大

「できるだけたくさんの人に来てほしい」というのは主催者としては当たり前です。人を「集める」のではなく、人が「集まる」ようなイベントができればおもしろいですね。そこで、甲奴でしかできない、甲奴でしか味わえない感動を与えられるようなイベントを考え、実行に移していきます。

### ● 観光ボランティアガイド養成学校の実施

現代の観光ニーズとして、うわべだけの説明ではなく、ディープな情報を吸収したい、新しい発見をしたいという傾向が強くなっています。また、ガイド側にとっては、甲奴を誇りに思い甲奴の魅力を伝えたい、旅行者との出会いが楽しい、それが自己実現につながるという意識の醸成につながると考えます。養成学校では、一定の課程を修了すると認定書がもらえるなど、ガイドの質の向上を確保します。

### ● グリーンツーリズムの推進

近年、旅行者のニーズは、その土地ならではの食事や伝統文化など、たくさんの魅力をもつ農山村への関心が高まっています。

自然豊かな甲奴でゆっくりと滞在してもらい、文化・生活・人々の魅力に触れ、地元の人々との交流やさまざまな体験などを楽しむプランを提案します。



### ● 定住のまちづくり

(定住人口の増加対策、空き家情報の積極的提供、  
Uターン者・Iターン者の支援、甲奴町のPR活動)

田舎暮らしを希望する人は、移住先でどんな暮らしが待っているのか具体的な情報を求めています。そこで、甲奴での暮らしがイメージできる情報の発信、田舎暮らし体験機会の創出、移住者の受入体制づくりなど、定住を総合的にサポートする「こうぬ暮らしコーディネーター」を養成し、定住のまちづくりを後押しします。



## ● 甲奴地域づくりネットワーク協議会

(甲奴町まちづくりビジョン、健康及び福祉の推進、定住促進等の目的に関する協議を行うため平成28年度に結成された組織)の機能充実

「甲奴地域づくりネットワーク協議会」では、住みよいまちづくりを実現するために地域の活性化や定住促進などを柱に協議が行われています。

まちづくりビジョンの見直しに関わり、幅広いアイデアや意見が寄せられました。今後は施策の実現に向けて、各分野で幅広い視野と長期的な展望に立つた創造的な活動が展開されるよう機能の充実を図ります。

## ● 「ゆげんき」の売店で、各種農産物や地域産品の販売

(地元の野菜・米・カーターピーナッツ・地酒・その他の加工品等)

食に対する安心・安全志向の高まりを背景に、「ゆげんき」では生産者と消費者をつなぐ甲奴産の安全な農産物や加工品の販売が期待されています。

厨房・ラウンジでは、地元産品を使った作りたての料理で、心からおもてなしし訪れる人を元気にします。

## ● 様々な販路を通じて甲奴産品の開発を推進する

朝どれ新鮮野菜や果物、手作り味噌、漬物、ジャム、ジュースなどの加工品、総菜などは、地域の住民の知恵や、団体の豊富な経験を活かして開発することが可能です。

町内だけでなく、市内の直売所や、農家レストラン、農家民宿などで扱うことで甲奴産品の販路が拡大されれば、産品を直接買い求めに訪れる人が増える可能性があります。甲奴産品の開発を通じて、生産者の意欲の創出や町の活性化につなげます。

## ● 「カーターショコラ」「カーターリング」に続く新商品の開発

農業の専門知識を持った県の技術指導所や農協、カーターピーナッツ研究会をはじめとする町内の各種団体、個人、生産者でカーターピーナッツを使った商品開発に向けた勉強会が立ち上がりました。ピーナッツバターに続き、カーターショコラ、カーターリングの販売が開始されました。平成31年2月よりカータークッキー、カーターまんじゅうの商品開発も実現し、県内のみならず商品の販売拡大に取り組みます。

● **カーターピーナッツの作付面積の拡大、生産者の所得向上**

「少し甘味があって美味しい」と好評を得ているカーターピーナッツのさらなる特産品化、新商品の開発に向け安定的な生産体制を確立します。

また、カーターピーナッツの生産・販売を新たな事業・雇用創出の機会と捉え、作付面積の拡大や所得向上につなげていきます。

● **高齢者に優しいカーター通り駅の更なる活用（集客に向けた継続的な取り組み）**

甲奴のメインストリートに位置するカーター通り駅。高齢者の居場所と生き甲斐の創出ができる「ほっとサロン」的な役割を持たせ、高齢者との交流・ふれあいを通じて誰でも気軽に立ち寄れる雰囲気づくりを目指します。

● **様々な情報発信で甲奴町をPR**

（CATVの活用、「てくてくこうぬ」の発信強化）

ネット・CATV・印刷物など、様々な情報発信手段がありますが、熱意をもって発信し続けることが大切です。甲奴町情報ホームページ「てくてくこうぬ」の内容充実を図り、甲奴ファンを増やす工夫をします。



③ **文化活動と文化の継承、教育、生涯学習・生涯スポーツの推進  
～いつまでも誇りを持って住み続けたいまち甲奴～**

● **1/2成人式を継続実施（内容を充実させ、参観者増加の取り組みを検討する）**

10年後に二十歳（はたち）を迎える小学校4年生を対象にした「1/2成人式」を開催し、参観者増加の取り組みをしていきます。

● **書道パフォーマンスの継続実施、見直し**

書道という「静」の伝統芸術と、踊りや音楽を取り入れた「動」の現代芸術が融合した書道パフォーマンスは10年前に始まった新しい芸術です。「書道パフォーマンス甲子園」の入賞校を招待するなど、話題性の提供とレベルアップを図り、知名度や集客につなげていきたいものです。



### ● 国際交流のまち甲奴町の継承

(平和と教育と自然と文化、人を愛する町こうぬ)

カーター元大統領との交流に始まり、ジョージア州アメリカス市との交流を継続・発展させ国際感覚を身に付けることにより、子供たちに平和の大切さを感じてもらい、ひいては甲奴の自然や文化を大切にし、人を愛することのできる人材育成につなげていきます。

また、これまでに訪問団員としてアメリカス市へ渡航した方々の新たな組織を立ち上げ、今後の受入・訪問事業への参画など一つの輪になって国際交流のまち甲奴の継承に取り組んでいきます。



### ● ジミー・カーターシビックセンターの活用

(ホールイベント・プラネタリウム・図書館、国際交流の拠点施設として)

生涯学習施設として市内外問わず、多くの方々に利用していただけるよう、学習機能の充実を図りながら、カーター氏の理念や平和・人権について学び、「考え行動する人」の輪を創っていきたくと考えています。また、甲奴町の歴史の一端を担い、甲奴の歴史や文化について学べる施設として、地域住民や周辺施設と連携を図っていきます。

### ● いこいの森弘法山活性化事業

(子ども天文台、カーターセンターとの連携・利活用)

いこいの森弘法山一帯には、カーターシビックセンター、子ども天文台などが整備されています。なかでもプラネタリウムや子ども天文台は県北では類を見ない施設です。自然(弘法山)と文化(シビックセンター)が融合したエリアとして県内外に広くPRし、活用していきます。



### ● 各種体育・スポーツ事業の実施(盆野球・ソフトバレーボール・バレーボール・ゲートボール・グラウンドゴルフ・ウォーキング・ゴルフ・空手 等々)

健康の保持増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」さまざまな生涯スポーツの機会を創出します。

このことは、三次市全体で取り組んでいる「チャレンジデー」への積極的参加にもつながります。



### ● 文化・教育団体の育成と連携（囲碁・将棋）

余暇時間の増大とともに、心の豊かさや生きがいを求める意識が高まっており、多くの人々が文化活動に目を向け参加できる環境づくり、その活動を支える文化・教育団体の育成と連携を進めていきます。

### ● 広島大学・県立大学との連携及びまちづくり支援

まちづくりにあたって大学は欠かせないパートナーです。また大学にとってもゼミや授業で地域のまちづくりに参画することは教育のフィールドを広げるチャンスになります。若者の行動力と柔軟な発想は、地域活性化の起爆剤となり得ます。

### ● 中学校 ふるさと甲奴を考える

生まれ育ったふるさとに関心を持ち理解することは、ふるさとに誇りを持ち心豊かでたくましい子どもを育むことになります。ひいては、ふるさと甲奴のために何ができるかを考え、地域社会の一員としてまちづくりにかかわる人材の育成につながることを期待されます。

### ● 英語教育に力を入れる（外国語教室）

世界の共通語として今、地域住民にも英語の必要性が問われている時代です。簡単な英会話ができることによって様々なタイプの人的交流が生まれ、そこから新たな発想、アイデア、ビジネスチャンスが生まれるのです。地域活性化・交流のためにも住民対象の外国語教室が必要と考えます。

## ④ 甲奴町の地域振興とまちづくり ～いい汗・いい顔・いい仲間～

### ● 甲奴町5地区振興協議会（本郷・西野、小童、宇賀、梶田福田、上川）の さらなる充実と特色ある地域活動・事業の継続・発展 （地域アイデンティティーの形成と情報交換）

地域の自治と振興は各地区の振興協議会が担うのが、まちづくりの基本的な考えです。地域の特色、良いところを伸ばせるような事業、住民が積極的に参加したくなるような魅力があり、継続できるまちづくり事業を進めていきます。

### ● 甲奴町振興協議会連合会組織の更なる充実と体制整備について

各地域振興協議会が協働してまちづくりを推進するためには、甲奴町振興協議会連合会の役割が重要です。その重責を果たしていくためには組織の充実と体制整備が不可欠です。そして5地区の振興協議会と「連合会」とのネットワークの強化、また、各振興協議会相互の連携、情報交換体制も構築していきます。

### ● 「甲奴町まちづくりビジョン」の5年に一度の定期策定（改訂）と三次市との協働

「まちづくりビジョン」に盛り込まれた企画は、策定した年からおおむね5カ年間に実現していこうとするものです。この間に実施された事業の検証を行い、ビジョンを再精査する必要があります。

また、事業を実現していくためには行政との協働が必要です。

### ● 甲奴町振興協議会連合会と三次市地域おこし協力隊との連携

地域外から人材を受け入れ、地域の活性化や魅力ある三次市を実現することを目的に活動する「地域おこし協力隊」と甲奴町振興協議会連合会が連携し、新たな地域ブランドや地場産品の開発・PR、イベント等の地域おこし支援を協働して取り組みます。

### ● 甲奴町振興協議会連合会及び各種団体の情報交換の場としての「甲奴町まちづくり大会」の実施

地域振興協議会と、地域の枠を超えた各種団体がお互いの情報や甲奴のお宝を生かすアイデアを持ち寄り、「まちづくり」をキーワードとした大会を開催することにより、各種団体活動の活性化とまちづくりの取り組みに相乗効果が生まれることが期待できます。



# おいでよ甲奴へ

作詞・湯浅康司  
補作詞・島田陽子  
作曲・池田八声

一、車のシートに 地図をひろげて

甲奴に進路 向けてごらん

風がかわれば 心が暗れる

眺めはるかな 弘法山

清い流れの 品の滝

鳥も呼んでる 緑のまちへ

Come on in KÖNU

おいでよ 甲奴へ

三、ふたりでどこかを 歩きたいなら

甲奴の野山 たどってごらん

実る稲穂が おじぎをするよ

牛は牧場で 啼いてるし

古墳 窠跡 野の仏

秋の陽ざしが くるんでいるよ

Come on in KÖNU

おいでよ 甲奴へ

二、ひとりでふらりと 旅をしたけりや

甲奴の駅に 降りてごらん

祭り太鼓が 聞こえてくるよ

昔ながらの 祇園さん

つなを引こうよ 大神輿

恋の願いも かなえてくれる

Come on in KÖNU

おいでよ 甲奴へ

四、すてきな笑顔 思い出したら

甲奴のまちへ 会いにおいで

ここでふるさと つくっていきこう

洗いざらしの ジーンズが

似合うまちだよ いいまちさ

みんないきいき 暮らしているよ

Come on in KÖNU

おいでよ 甲奴へ



## おいでよ甲奴へ

作詞・湯浅康司  
補作詞・島田陽子  
作曲・池田八声

くまのシートに ちずを ひろげて こうぬに しんろ わけ  
て ごらん かげがかわれば ころがはれる な がめ はるかな  
こうほうま - きよいな がれの - しなのたき - とりもよ  
んでる - みどりの まちへ - カムオンイン コーヌー おいでよ こーぬへ



いい汗・いい顔・いい仲間  
あせな